

萩野 豊子さん

【受験回数】

一次試験: 5回

二次試験: 1回

【中小企業診断士を受講した動機】

私は、大学は芸術学部を卒業し、それからずっと演劇の世界で生きてきました。が、30代半ばでいつの間にか先が見えなくなっていた事に気づき、少し距離を置こう、自分を見つめ直そう。と、いったん全てを引き払い実家に帰りました。

それまで演劇の事しか考えず、仕事はお金を稼ぐためだけ。と割り切っていました。が、ちょうど派遣社員から正社員へ切り替えていただき、社会人としてこのままでいいのか？と疑問を持った時期、また何か打ち込む事は欲しかった時に知人にこの資格を勧められました。それまで資格には全く興味がなかった私でしたが、こんなにたくさんの事が一つの資格で勉強出来るのか！と新鮮な気持ちで期待に満ち溢れ勉強を始める事にしました。(…後に科目数の多さに大変苦勞する事も知らず…)

【一次試験について】

上記のような動機で始めたものの、資格を取って何をしようと言う明確な目標もなく、勉強の仕方もすっかり忘れてしまった状態で受験勉強を始めました。その頃は他校でしたが、ただただ講義を受け、答練の為の勉強をするだけ。受かる自信もなく本番へ向かい、1科目のみしか合格点を採れませんでした。

2年目からは二次の勉強も始め、二次の勉強が思いの外楽しく、力を入れすぎたのか…2年目も1科目だけ。

3年目は3科目受かりましたが、どうしても財務と法務が取れず。

4年目も3科目受験しました。ここでもまた財務と法務が残ってしまい…もうやめようかと挫折しかかりましたが、最後にもう一度だけ！と5年目の今年度。

ずっと受からなかった財務が簡単だった事、とても難しかった経済を受けなくてすんだ事等が幸いし、もの凄い気合を入れて臨んだ一次試験でしたがあっさり合格することができました。

簡単だった事もありましたが、5年間勉強した中で、ただ問題を解くだけ、教科書を読むだけでは新たな問題は解けないと気づき、自分で問題の問われ方を変えてみたり、角度を変えて考える事が出来るようになった事が合格の要因となったと思っています。

【MMCを選んだ理由】

一次に受からなかったら今年で最後にしよう！と、気合を入れて一次に臨み。5月ごろからは財務以外は二次試験の勉強はしませんでした。しかしMMCへ通っていた勉強仲間から、授業のアウトホームな様子や、先生全員が後ろにいて、すぐに採点してくださる事や、授業の内容、解法の説明等を聞いて、また、採点してもらっている解答(アドバイスがぎっしり書いてあるもの)を見せて

もらい、もし一次に受かったらMMCへ通いたい！と思うようになっていました。そしていよいよ一次の発表の日、すぐに直前対策講座に申し込み、通学させていただく事にしました。

【二次試験の勉強方法等について】

MMCへ通うようになり、最初の頃は答練を何度も書きなおして再提出する意味を理解できず、模範解答に近い解答を書いてしまっていました。本当に80分の中で自分が書ける範囲の解答を書くべきだ。と教わってから、80分間でやるべき事が少しずつ整理されていったような気がします。また、MCサークルを頭に思い浮かべる事や、キーワードを準備しておく事でどんな問題が出てくる事が少なくなりました。ただ、春からずっと二次の勉強をしている方に比べ、8月から始めた私には出遅れた感があり、キーワードのボキャブラリーが少ないのではないかとMCサークルを使いこなせていないのではないかと常に不安ではありました。しかし、答練や模試の度に直接先生からアドバイスをいただいた事や、川橋先生には「僕もこれくらいしか使ってなかったんですよ」と、受験時代のノートを見せていただいた事で、自分に出来る事を確実にやろう！と、数ではなく、質を高める事を考えました。そのために自分の答案と模範解答+優秀な方との比較をしていく事を目標に答練は全部再提出しようと考え、実施した事がよかったと思っています。また、提出したものはすべて先生のアドバイスを書いていただき、読み返す事でとても力になったと思います。

【二次試験本番にて】

本番当日は徳川先生がカッパを着て試験会場にいらして、「これお守りに持って行く？」と口述対策のお知らせを下さったため、とても癒された気分でした。

事例Ⅰが始まり、一問目が分からなかったため、飛ばして次々と進み、ちょっと分かりにくい問題でも、今まで通り、設問文が何を聞いているのか、MCサークルのどこの部分か？準備してきたキーワードを使えるか？と考えながら解き、落ち着いて一問目へ戻ってきて書き終わった時点で・・・残り25分残っていました。何か書き忘れたのか？とその時はとても焦りましたが、全て読み直してもそれ以上は何も出来なかったため、文字の訂正意外は書きなおしはしませんでした。

事例ⅡもⅢもゆっくり対応はしましたが、時間には余裕があり、見直しもしてきました。

事例Ⅳについては正直な所、一つも自信のある解答をかせせでしたが、最後の最後まであきらめず、今まで書いてきたキーワードをなんとか駆使して回答欄を埋めてきました。

【最後に】

二次試験合格後も口述試験対策では一人一人に合わせた模擬面接をしていただき、試験当日は落ち着いて答える事が出来ました。本当にあきらめなくてよかった、MMCの先生の言葉を信じてよかった。と、今でも二次試験会場での対応を思い返しては実感しています。勉強仲間がいたからこんな長い間、あきらめず、挫折せず勉強をつづけられました。そして最後はMMCの先生方の言葉、勉強方法に助けられ合格することができました。本当に皆様に感謝いたします。ありがとうございました。これから受験される皆様には、あきらめなくて、素直に先生方を信じていけば努力はきっと報われる！とお伝えしたいです。これからは資格を生かして仕事や活動をしていきたいです。本当にありがとうございました。